

広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111 [代表]

人口

—11月30日現在—

9,281人	男	4,514人
	女	4,767人
世帯数	2,603	
転入	23	出生 10
転出	35	死亡 5



幸福への出発

一九八三年へのスタートは切られた。手をこまねいていても幸せは来ない。さあ、その目標に向かって矢を放ち、幸せの的を射止めよう。あなたのその手で。

(高森弓友会のみなさん)

第281号
昭和58年
1月

国鉄高森線を利用しましょう

おもな内容

- 新年のごあいさつ.....(2)
- 国道(高森-白水)バイパス完成.....(3)
- 「ナンゴウヒ」を林業の核に.....(4)
- 「高森町歌」を制定.....(5)
- 政治に参加する道を大切に.....(6)
- 亡き夫の母校に寄金.....(7)

火事・救急車は富119へ	2月6日	1月30日	1月23日	1月16日	1月15日	1月9日
	富立野	富寺崎	富東	富馬原	富平田	富小
	80111	20378	20309	20646	20216	20075
	院	院	院	院	院	院

日曜 在宅 午後9時前まで

町民文芸

肥後狂句

完全凍結 空から輸血する離島
言わにゃ良かった 俺がキープにたかる蟻
ちィッと馬鹿 内助の功が支えとる
こらア堪らん 腕白盛り喰い盛り
こらア堪らん トイレ通わす貝柱
完全凍結 ツルツルテンの峠道
主もかい 連れ小ン便につき合うか
完全凍結 チェン巻いても通られん

俳句

体操のちらつく雪に氣負いたち
おのがことすれば事足る冬こもり
佛具等研きて老の年用意
長き冬始まる阿蘇の初あられ
初雀喜々と日当る野木場
去年今年菩提寺よりの鐘の音
又しばし離れ住む子と初訪出
賀状書く真白き筆をおろしけり
賀状書く無音の詠びを丁寧に
めでたさや母に米寿の年明るる
寒禽のつと飛びたちて刻移る
阿蘇眠る景に入りたる新庁舎
冬の雲五岳に影を遊ばせて
初霜や万物一夜に姿かえ
頬かむりしかと結びて桶洗う
衿正し村人集ふお取越

岡本 琴司
浦塚 南天
田上黙公子
篠田 凡才
林田 一声
山村 不覚
林 不忘
馬原 馬笑

山村 純女
熊谷こう女
甲斐 春江
弥永 露女
内田あや女
松岡 信子
桐原 寿子
林 久恵
柴田ふい子
古庄 泰子
平田るり子
岩下 扶美
山村ふみ子
森 政隆
本田 訓子
阿部タツエ

おめでたおくりやみ

S57.11.16~12.15 受付

出生	出生(児)	性別	出生年月日
(住所) 上在町旭通中菅野	(保護者) 紀野 洪一	(出生児) 秀 俊	(性別) 男
下町通	津留 和守	慎太郎	男
旭通中	橋木野満	伸也	男
菅野	佐藤 信夫	美和	女
野尻	矢津田千代	直樹	男
	古庄 謙一	忠輔	男
	瀬井 美雄	達也	男

死亡	遺族	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
(住所) 小倉昭上冬	花田 博恵	母	花田マサエ	86	57.11.19
野尻	松木 幸雄	妻	松木ハエコ	66	11.29
矢津田	佐藤 幸雄	父	佐藤 幸喜	73	12.5
	今村 俊男	妻	今村 律子	69	12.2
	富永 福實	妻	富永 誠子	54	11.27
	二子石保任	母	二子石アサエ	77	12.2

結婚	(氏名)	(住所)	(婚姻届年月日)
後藤(松田)	孝子	高森市	57.11.29
夫妻	由美	八代市	12.10
夫妻	信子	萩原町	12.13
夫妻	守美	津留宮町	11.17
夫妻	蔵子	草部	12.11
夫妻	勝子	高森町	10.16
夫妻	喜美	高森町	10.20
夫妻	夫	尾津	

紅葉谷日の当りたるダムのあり
初雪や峽に小鳥の声も無し
煤はらい家を清めて年迎う
逝く人に永き別れの菊の花
雲切れて阿蘇の五岳に初の雪
焚火煙風の意のまま流るなり
飲むほどに心解け行く忘年会

(一) (寄) (付) ありがとうございます

●町社会福祉協議会へ
△香典返しにかえて▽
▽矢津田の二子石保任さんから
(母、アサエさん・77歳死去)
▽芹口の富永福美さんから
(妻、誠子さん・54歳死去)
▽高森冬野の今村俊男さんから
(妻、律子さん・69歳死去)
▽高森昭和の松木園さんから
(妻、ハエコさん・66歳死去)
▽高森上在の佐藤幸雄さんから
(父、幸喜さん・73歳死去)
▽菅山水迫の後藤慶男さんから
(母、タマエさん・73歳死去)

後藤やよい
後藤 チェ
白石 政憲
後藤 固
森 正六
後藤 法龍
春嵐
▽色見小倉原の花田博恵さんから
(母、マサエさん・86歳死去)
△一般寄付▽
▽役場職員一同から金一封
▽河原黒岩の鶴林正昭さんから金一封
◎老人クラブへ
▽高森上在の佐藤幸雄さんから城山老人クラブへ金一封
▽高森昭和の松木園さんから昭和老人クラブへ金一封
▽大字芹口の芹口信夫さんからことうき会老人クラブへ金一封
▽色見小倉原の花田博恵さんから小倉原老人クラブへ金一封
▽芹口の林鉄夫さん・甲斐サクさん・市原スミ子さんからことうき老人クラブへ金一封

「税に関する作文」入選作品



高森町の産業と租税

草部北部中学三年 二子石由美

私は、小学校のころまで、税について何一つ知っていません。税は、私に税に対する興味、関心がなかったからだから。それと、周りからの税の情報が少なかつたからだと思う。ただ税として記憶にあるのは、大人たちがいやいやながら税金を納めている姿を見てきたことだ。

小さいころは、なんのために大人たちは、あんな高いお金を納めるのだろうと思っていた。高学年になって、それが多少理解できた。

このページは、みなさんから寄せられた原稿で編集するページです。身近な話題や、できごと、提言などをお待ちします。原稿のあて先は役場総務課広報係。住所氏名、年齢、職業をお書きください。紙上だけ匿名扱いできます。また「わが家の王様」に登場させたい方などご紹介ください。

私の学校は、昨年から租税教育の研究指定校となった。二年生だった私たちは「高森町の工事業と租税」というテーマで、過去一年間の租税の学習を進めてきた。

工業では、工業関係の事業所が他の郡や町にくらべて少ないことがわかった。そして、これから高森町を発展させていくには、少し不向きであることもわかった。

飼い犬の管理をもつと嚴重に

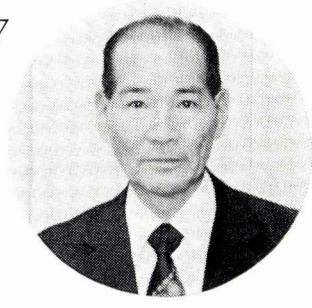
飼い犬の管理が、案外野放しにされているように考えさせられます。私の住む団地の近くでも、道々散歩もしてられないほど犬に

出合います。おとなしい犬ばかりとは限らず、人が通ればすぐほえる犬も多いようです。よそでは犬にかまれて死んだニュースも聞き

ます。人にかみつくなどの事故が起きてからでは遅すぎます。住みよい町づくりのために、飼い主は、クサリや囲いのカギを点検し、管理をしっかりしてほしいのです。

本当に租税の勉強をしてきて良かったと思う。これから先、税のいろいろの問題とぶつかっていくと思うが、税の知識を豊富にしてそこで立ちどまらなくていいようにしたい。

(主婦 匿名希望)



新年のごあいさつ



英知集め要望解決へ

町議会議長 甲斐一誠

輝かしい新春を迎え、謹んでご祝詞を申し上げます。昭和五十八年の新春を迎え、町民の皆様のご健康とご繁栄を心からお祝い申し上げます。

昭和五十四年四月発足しました現町議会も、本年四月に任期が満了することになりました。四年間をふり返りますと、幾多の難問を抱えたまま、町民各位のご理解あるご支援のもと、一歩一歩かじり前進ができたことを感謝いたしております。

昨年十二月には、各位のご協力とご支援によりまして、合併以来の懸案でもありました庁舎も林業センターとともに竣工いたしました。本町行政はもとより、町発展の核として、執行部、議会ともども全力投球を「館造って魂入らざ」ということのないよう一層の精進をいたす覚悟しております。さて、新しい年の展望を考えて

みますと、何一つとも明るい材料が見い出せないような感じがします。行政改革が今年新しい内閣の手によって実施されることは必至であり、地方自治体の自立性の確立が、今後の重要な課題であります。本町の財源見直しも昨年以上に厳しさを増すことが予想されます。しかし、このようなときこそ、私たちは英知をしぼり、住民福祉を第一に、みなさんの要望を一つ一つ解決に向けて努力すること

なにとぞ本年も町議会に対するご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご多幸をお祈りして、新年のごあいさつといたします。

町勢発展に全力投球

高森町長 岩下八束

あけましておめでとうございませう。瑞気漂う新春をおそろいで健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。日ごろから町政の推進に協力をお願いし衷心より感謝申し上げます。

さて、昨年は不安定な経済情勢下における不況に加え、異常気象がもたらした長雨は、農家にとって収穫半減、極めて厳しい苦難の年でありましたが、そのなかであって、山積する町勢振興の諸事業も皆様のご理解ご協力によりまして、漸次進展をみておりますことを重ねて感謝申し上げます。

特に長年の懸案事項とされてきました草部中学校や、役場新庁舎、林業総合センターなど町の大規模事業が完成、さらには国道三二五号線、バイパスの一部開通がなされましたことは、皆様とともに喜びに堪えないところであります。本年は、いよいよ一九八〇代に突入して三年目。政府は臨時行政調査会の答申を受け、行財政再建に向けて、これからの具体的な取り組みにはいるわけですが、一部

財政面において、地方自治体にこれを転嫁する心配がうかがわれ、まことに容易ならぬ局面を迎えております。いま、そのような状況下において、本町も行政改革を行い、健全財政を堅持し、最少の経費で最大の効果を上げ、町民の生活安定、福祉の向上を図るため、全力投球を行う所存であります。

今後の本町の課題としては、国鉄高森線の存置対策はじめ、水対策、新林業構造改善事業による林道や山村広場の着手、池ノ迫農免道路(中村一祭場間)の整備促進、広域農道ならびに第二次農用地開発事業、さらには農・商業に対する行政施策の対応などが必要であるろうかと思えますし、人権擁護の観点から同問題解決のための施策にも積極的な取り組みを行わなければならないと考えております。

「法律扶助制度」とは？

【問い】家庭内の金銭トラブルや借地・借家等の紛争解決を裁判で争う場合、法律扶助という制度があると聞きました。どんな制度でしょうか。

【答え】家庭内の離婚慰謝料とか扶養料の請求、あるいは土地や家屋の受け渡し、交通事故の損害賠償など民事事件で、裁判にかけて勝つ見込みがあっても、裁判の経費がかかるため、あきらめてしまう場合があります。法律扶助制度というのは、そうした人のために訴訟費用を立て替えるなどをして扶助する制度です。

また、観光では、町にもいろいろの施設などあることがわかった。なかでも目を見張ったのは、南阿蘇国民休暇村の利用率が高かったことである。これは大変よろこばしいことだ。

質問箱

裁判の費用などを立て替え

訴訟の内容を相談した結果、協会では①勝訴の見込みのある訴訟で ②その費用に困っている人―を対象に、弁護士のおおおよそおおよそ費用として訴訟費そのものと弁護士手数料を立て替えています。費用の償還については、原則的に事件終結後一カ月以内に全額償還するか、特別の事情がある場合は三年以内に分割償還することも可能です。

憲法にも「国民の裁判を受ける権利」(第三十二条)が明文化されている通り、せっかくの正当な権利を放棄したり、あきらめたりしないで法律扶助の制度をもっと活用しましょう。

詳しくは各地の弁護士会内の法律扶助協会へ直接たずねるか、地方法務局または自治体でも相談の窓口があります。

しかし、その南阿蘇国民休暇村を建てる時にも税金が使われていたことを知った。その税金とは私たちが町民が納めたお金である。結局、税金とは高いと思われ、かも知れないけど、その実態は、

郷土の町づくりとして役立っている。たり、いずれは、なんらかの形で自分たちのところにもどってくるのである。小学校のときに納得できなかった税金も、この租税の学習をすることによって、やっと納得し、理解することができたのである。

お知らせのページ

森林組合で職員採用試験を実施

本町林業は、打ち続く経済不況に例外なく低迷の状況にあります。このようとき高森町森林組合では、本町の林業振興に熱意と意欲のある人を広く募集しています。

〔受験資格〕本町に居住する男子で、昭和三十年四月以降に高校を卒業した人、もしくは本年三月卒業予定者

〔採用人員〕若干名

〔出願期限〕一月三十一日

〔採用試験〕一般教養、作文等について二月中旬に実施

※願書ならびにお問い合わせは高森町森林組合(☎20769)へ

国立八代工専が58年度学生募集

国立八代工業高等専門学校では次のとおり五十八年度学生を募集しています。

〔募集人員〕機械電気工学科四十名、情報電子工学科四十名、土木建築工学科四十名(推薦による募集人員は各学科八名程度とする)

〔願書受付〕二月一日から二十日までの期間内必着のこと。

〔選抜の方法〕▽学力検査 出題する教科は国語、社会、数学、理科、英語

▽検査日 二月二十日(日)

※出願の手続きなどお問い合わせは☎八六六 八代市平山新町二六二七 八代工業高等専門学校学生課教務課へ。

教育モニター募集

県教育委員会では、五十八年度教育モニターを募集しています。

教育モニター募集について意見、要望などお持ちの方は、ふるって応募ください。

日本国民で満二十歳以上の方ならどなたでも応募できます。受付期間は二月一日から三月三日まで。教育モニター申込書は、教育庁総務福利課に準備しています。

郵便で請求される方は六十円切手をはった返信用封筒を同封して請求してください。詳しいことは、教育庁総務福利課、電話〇九六三日まで。

作業停電を実施

1月28日の午前中

九州電力大津営業所では、黒川高森線の鉄塔工事ならびに一般機器点検のため次の日時に作業停電を実施します。

〔期日〕一月二十八日(金) 午前八時半から十二時半

〔停電範囲〕高森町全域

働きながら学ぶ 県立江津高校へ

五十八年度は次の要領で募集が行われます。

〔定時制〕募集学科は普通科・商業科・衛生看護科。修業期間は四年毎夜四時間程度の授業を受けます。受付期間は二月八日から十五日まで。

〔通信制〕毎日通学できない人のために開いた課程で普通科だけ。入学試験はありません。年に二十回ほど日曜または月曜日に登校して授業を受けます。また年間各教科十回のレポートが課せられるので教科書・学習書・NHK通信高校講座等を利用して勉強し、それを学校に提出して添削を受けます。試験は年三回。在学期間は四年以上です。▽諸経費(年額)は授業料千円。生徒会費等五千元。その他入学時に三〜四千元程度。▽受付期間 二月二十日から三月二十五日まで。

詳細は熊本市出水町四丁目三五〇(☎75311) 県立江津高校までお問い合わせください。

交通事故無料相談のご利用を

日本損害保険協会 熊本相談センター

社団法人・日本損害保険協会熊本自動車保険請求相談センターでは交通事故の無料相談を行っています。受付は平日が午前九時半から午後四時半、土曜日は正午まで。



●たばこは地元で買ひましょう。

今月の支払日

25日(火)

今月は支払予定日が正月明け、日曜日にあたるため二十五日だけとしました。支払時間は午前九時から午後三時までです。

交通事故の被害者、加害者のため自動車保険の請求手続きのほか、事故解決方法などについても相談に応じています。ご相談には専門の相談員があたり、毎週一回(水曜日の午後一時〜四時)は弁護士の相談も受けられます。来訪、電話いづれでも無料ですからお気軽にご利用ください。

場所は熊本市水道町一五二二 農専ビル六階(貯金会館隣) 自賠責保険熊本調査事務所内(☎〇九六三一五六一〇六二七)

専門員による年金相談所を開設

社会保険相談専門員による社会保険業務全般についての相談所が次のとおり開設されます。日雇健康保険、厚生年金保険、船員保険および国民年金についての相談、照会などご遠慮なくご利用ください。

〔相談日〕▽一月二十四日(午前十時から午後三時)▽二月二十八日(同)▽三月二十八日(同) 会場はいずれも畜産センター

高森―白水パイパス完成

着工から8年ぶり

産業、観光開発の大動脈へ

国道三二五号線のバイパス(高森―白水間)が全面舗装され、快

適なドライブウエイに生まれ変わりました。高森村山の高森生コン前から白水村吉田の南阿蘇登山道路登り口までの八・二キロ。総事業費二十八億五千四百万円。四十七年度から一の宮土木事務所が用地

買取にかかり八年継続事業で工事を進めてきました。これまで高森―白水間は、既設の国道を通ると、大型車とうしの離合がやっとで、子供の飛び出し事故などに運転者はヒヤヒヤ。今度完成したバイパスは、既設の国道より約四百メートル北側に平行してつくられました。車道は上下各一車線。車輛の大型化、交通量の増加に対応して十四メートルのゆったりとした幅員がとられました。

た。また、バイパスは直線部がほとんどで、阿蘇五岳と南外輪山の景勝に囲まれ、ながめも満点。しかし、車の最高時速だけは五十キロに制限されました。あとは植樹地帯の整備が残されているだけですが、阿蘇南郷谷地区の横断ルートのカナメとして、産業輸送の向上、地域観光の振興にも大いに役立つものと期待されます。

なお、一の宮土木事務所では現在、村山から高森峠までのバイパス工事を進めています。五十八年度で高森峠三合目から山頂のトンネルまでをひとまず開通させ、六十一〜二年度までには全線開通をめざすことにしています。



農商懇談会の会場

コーナーを設けるよう図りたい」と応えました。このほか、農閑期の労働力を生かすため、臨時雇用のあつ旋、企業誘致の促進など身近な問題が出されました。

しかし、総体的に「地域経済の振興は町発展の原動力」との観点から、近く町・農協・商工会によるプロジェクトチームをつくって、その活路を開くべきだとの意見の一致をみました。

町の経済浮揚図ろう

農商懇談会に活発な意見

農業と商業の協調を図ろうと、町はこのほ

懇談会では、町の本年度事業の概要、二農協の現況、商工会の事業などが、それぞれの代表から報告されたあと、町の経済振興について協議されました。

残念。地域の経済面でもマイナス的な要素が多いのでは」と意見が出され、商工会側からも「商店街への影響が懸念される」との考えが述べられました。

次いで商工会から農協の購買事業の縮小について要望があり、農協側は「役員等の意見を総合して検討したい」「農協内に地元商店

商工観光課と経済課を統合

事務合理化の一環として、町は一月一日から商工観光課と経済課を統合、新しく「産業観光課」としました。



完成した国道三二五号線バイパス

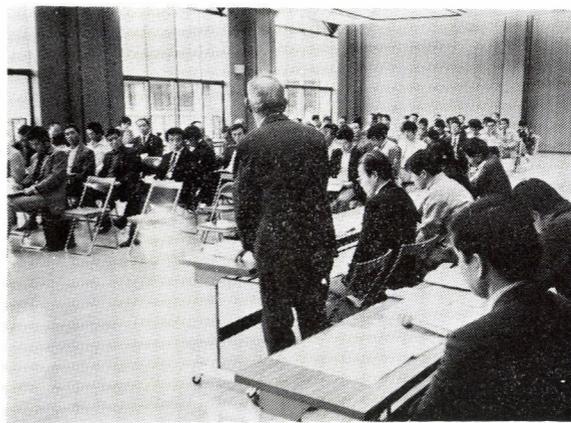
「ナンゴウヒ」を林業の核に

技術開発めざし、研究会を設立

林業総合センターに、このほど郡内の森林組合、樹苗組合、それに林業家、県町村関係職員など約百人が集まり、「阿蘇郡ナンゴウヒ研究会」の設立総会が開かれた。優れた特性を持ち、高級建材として最適のナンゴウヒ（南郷）を阿蘇林業の核にしようというもの。

まず、五十年以上もナンゴウヒの育苗、育林に取り組んでいる馬原広雄さん（主）が発起人を代表してあいさつしたあと、岡本県阿蘇事務所長、瀬井助役らが来賓あいさつ。このあと、小国町の林業家、河津友善さんを議長に選出して、規約ほか、本年度事業計画、収支予算などを承認しました。

ナンゴウヒは、本町を中心とした南郷谷が原産地。①幹が真っすぐ伸び、②年輪が均等で硬い、③二十年過ぎて生長が早くなり、四十年生で他のヒノキの五十年生に匹敵するなどの特性があります。さらに、九大の佐藤・宮島両教授の調査研究でも、品種改良や苗木生産が有効であることが実証されています。



阿蘇郡ナンゴウヒ研究会設立総会会場

医療費一部自己負担へ

2月から 老人保健事業スタート

老人保健法が成立し、本年二月一日から老人保健事業が行われることになりました。この老人保健法の特徴は、①実施主体は市町村であること、②医療だけでなく、まず健康に老いることを目的とし、予防健康増進・治療・機能訓練まで一貫のものとしてまとめ

いること、③必要な費用は国民が公平に負担することの三つです。その内容を説明しますと、「医療」七十歳以上の人、六十歳以上七十歳未満の寝たきり老人など（国民年金法別表障害一、二級該当者）を対象として「医療」の給付が行われます。

「保健手帳」六十五歳以上の医療受給対象者の外に、四十歳以上の希望者全員に「健康手帳」を交付、その結果を記録するなどして、医療と日常の健康管理に役立たせます。このほか、「健康教育」「健康診査」「訪問指導」なども行います。



馬原さん

高森下町の馬原広雄さん（主）は、今年度の全国育樹活動コンクールで国土緑化推進委員会理事

全国育樹活動コンクールに入賞

下町の馬原広雄さん

お、同会の役員には次の方々が決まりました。
▽会長 馬原広雄（高森）▽副会長 河津正義（小国）▽運営委員 河津友善（南小国）、佐藤功一（蘇陽）、古閑鶴雄（一の宮）、古沢勲（久木野）▽監事 波野村森林組合、河津一郎（小国）。

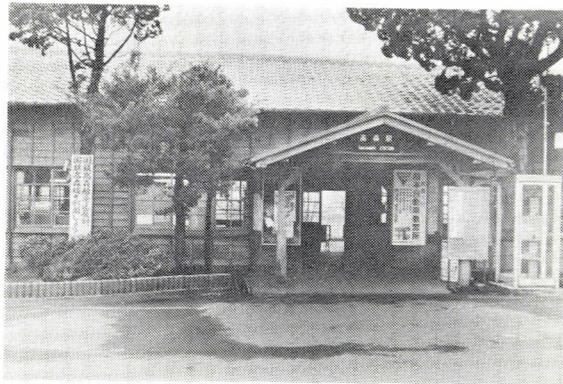
理事長を受けられました。これは国土緑化推進委員会が、地域の育樹活動の普及向上に著しい実績をあげた人を表彰しているもので、県内からは馬原さんが、ただ一人選ばれました。馬原さんはナンゴウヒに関しては県下の第一人者。特に九州大学の調査に協力、ナンゴウヒを発見した功労者でもあります。また、ナンゴウヒの育苗についても、得苗数量の安定を目指して取り組み、母樹の選択、採種、さし付けなどの工夫改善を行って、馬原式育苗法を確立されました。

高森百景

<13>

高森駅

高森線の存廃問題に明け暮れた五十七年が過ぎ、新しい年を迎えました。が、果して希望に満ちた輝やかしい年といえるでしょうか。



感慨深い歴史の歩み

昭和三年開通以来、実に五十有余年の長い間、一日も休むことなく走り続けたその汽車から受けた恩恵は、沿線の人たちにとってにははかり知れないものがあります。建設

現時の力をつくされた津留源三郎翁の頌徳碑もこの機関車と向い合っています。翁はすでに故人、碑の題字を書いた人は国会議員の現役。もっと高森線の

退役となった蒸気機関車C12が駅前広場に老人クラブの手厚い介護の下に保存展示されていますが、これも何か一言物申したけであります。高森線建設実

存続に全力を傾注してもらいたいものです。

「昭和三年二月十二日の開通祝賀会は、昭和、万代両橋の渡り初め式を皮切りに、午前十時三十分、熊本仕立の臨時列車がゆるやかに高森線に到着した。駅頭では町有志や小学生徒が手に手に小旗を振りかざし鉄道歌を合唱して来賓一同を迎えた。一行は直ちに式場の高森小学校に赴いた。午前十一時半、鉄道大臣代理を始め、各方面から参集した官民有志二千余人が、それぞれ着席を終ったところで開式。鉄道音楽隊の吹奏する君が代が静かに流れ、河西建設主任技師が開会を宣し、ついで柴田建設事務所長、吉田門鉄局長らの祝辞朗読、小川鉄道大臣代理、黒河内保線課長が祝辞を代読し、開通式はとこおりになく終了した。引き続き駅前広場に設けられた協賛会主催の祝宴に臨み、模擬店の開設や余興隊の練込みなどでゴッパ返し、小学生を中心とする旗行列がウズを巻いて、終日大変な賑いを呈した」（国鉄百年記念誌から）

内田秀憲

亡き夫の母校に寄金

別府市の佐藤ジンさん 高森小 音楽室の楽器そろう



寄付金で購入された楽器に大喜びの児童たち

「おばあちゃん、こんな立派な楽器がそろいました。どうもありがとうございます」——このほど高森小学校（松野清校長、四百九人）に、真新しい楽器が届き、児童たちは楽しい器楽演奏ができること大喜びです。

これは別府市朝見区にお住いの佐藤ジンさん（主）が、亡夫の墓参のため本町を訪れた際、同校に立ち寄り五十万円を寄付されたものだった。

佐藤さんの夫辰平さん（昭和十四年、大東亞戦争で戦死）は本町横町の出身で、大正五年に同校を卒業、町在任中はいろいろな近所の人から親しくされていたことから

感謝の気持ちを「亡き夫の母校にでも」と、コツコツ貯金したこづかいを贈ったものです。佐藤さんは十一年前にも十万円を寄付されており今回は二回目。最初のとき同校では、鼓笛隊八十人分の制服をそろえましたが、今回は職員一同で話し合った結果、音楽室に不足していた木琴や鉄琴はじめ、太鼓、アコーディオン、シンバル、ピアノなど合計十五点の楽器を購入しました。

児童や先生たちはもちろん、父兄たちも佐藤さんの好意に大喜び。音楽室では高学年の児童を中心にいつも楽しい器楽練習が続けられています。

ポンプ積載車を配備

中心街の機動力高まる

町は、このほど消防団の第五分団二部（三森勝義分団長、後藤時男部長）に、最新鋭のポンプ積載車を配備しました。

このポンプ積載車は、ニッサンアトラス一六〇〇cc. Wキャブを消防用緊急自動車に改装したもので、四十馬力の小型動力ポンプ一台ほか、サイレン、回転ランプ、スピーカ1、サーチライトなどの付属品が装備され、九人が乗車できます。価格は二百五十一万六千円。

五分団二部は高森地区の天神、上町、横町の一部が管轄で、密集地帯であるところから、早くから小型の動力ポンプなどは配備していましたが、機動力に欠けるため、この新しい新型のポンプを乗せた積載車を増設したものです。

九台、小型ポンプ二十二台となく、町消防団の機動力はより充実してきました。

新しいポンプ積載車を手にした同消防団では、さっそく入魂式を行い、正しい取扱い訓練も実施しました。

なお今回の増強で、本町の消防設備は、消防車四台、ポンプ積載車



5分団2部に配備された新しいポンプ積載車

「愛町意識」高めよう

町教委 「高森町歌」を制定

町民の愛町意識の高揚を図ろうと、町教育委員会は、このほど「高森町歌」を制定しました。役場新庁舎建設を機会に町民のみなさんに応募を呼びかけていたものの。

入選作をそのまま採用することに難点があり、入選作詞の内容を取捨選択して、制定委員会作詞とすることとして次のとおり定められました。

高森町歌

- 一、大阿蘇の噴煙を仰ぎ南郷の要と栄ゆ山桜咲く開いの城址うるわしき歴史の里よああ我が高森永遠の町
- 二、根子の嶺紫に昏れ涼風の山ふところにこだまする若人の声燃え上る明日への力
- 三、ほこ杉の吉見の社ひめ百合は広き原野に放牧の赤牛群れて生業を拓き築かん
- 四、ああ我が高森永遠の町

20歳になったら国民年金に加入しましょう

成人式を迎えられたみなさん、おめでとうございます。二十歳になったその日から、成人として多くの権利が認められ、それと同時にまた義務も課されます。国民年金もその一つです。

最近わが国は、人口の高齢化がすすみ平均寿命も年々延びており

老人の占める割合が増える一方で、老後を安心して暮らすことができる年金制度が必要になってきます。

現在、わが国には八つの年金制度があり、必ずどれかの制度に加入することになっています。それぞれの職業によって、加入する年

金制度が定められていて、会社に勤める人は厚生年金に、公務員などの人は共済組合に、そして、農業・商業など自営業の人で二十歳から五十九歳までの人は、国民年金に加入することになっています。

国民年金は、歳をとったり、一家の働き手が亡くなったり、障

害者になったときなどに年金を支給して生活の安定が保たれるようになっていきます。

いま成人式を迎えたばかりのあなたにとって、老後の生活、年金の話などといってもまだまだ遠い先の話と思われるかも知れませんが、人間だれしも歳をとり必ず老後はやってきます。年金で安心して暮せるよう若い今のうちから国民年金に加入しましょう。手続きは町民課年金係でおこなっています。

ああ我が高森永遠の町
 夏の夜の風鎮まつり
 伝え来し文化の響き
 展け行く息吹きにも似て
 ああ我が高森永遠の町

20歳と選挙権

政治に参加する道を大切に

二十歳になると生ずる権利の一つに、選挙がありま

す。わたしたちは選挙を行使用することによって国の政治をはじめ県、町の地方政治に参加することになるのです。

しかし、実際に投票するには、町の選挙管理委員会が作成する「選挙人名簿」に登録されている必要があります。

ければなりません。

町の選挙管理委員会は役場内にあり、かつ三カ月以上住民基本台帳に登録されている者の中から、満二十歳以上になった者を、毎年九月（選挙があれば選挙の直前）に選挙人名簿に登録します。

一度名簿に登録されると、住所を移転しない限り永久に登録されています。引っ越しなどで住所を変えた場合には、必ず住民票の移

動届を出してください。そのままにしておくと、選挙権の行使ができなくなってしまう。

◇ あなたに与えられた、貴重な権利、選挙権を有効に使うためには、まず棄権をしないことです。候補者を知ることがかりには、街頭に掲示されるポスターのほか、次のようなものがあります。

▽選挙公報：各戸ごとに配布されますが、新聞などに折り込まれて配布されることもあります。

▽個人演説会：ポスターなどで場所や日時が知らされます。

▽立会演説会：ポスターなどで場所や日時が知らされます。

▽政見・経歴放送：テレビやラジオで放送されます。



古木さんが知事表彰 永年勤続優良従業員で

高森横町の古木芳夫さん（五九）写真は、このほど熊本県知事から永年勤続優良従業員として表彰されました。

この表彰は三十年以上同じ職種につき、他の模範となるような五十歳以上の勤労者が対象。本年度は古木さんから県下の中小企業で地道に働き続けている十五人が表彰されました。

県庁の知事応接室で行われた表彰式には、妻の秀子さんと出席、沢田県知事から賞状と記念品を受

高森横町の古木芳夫さん（五九）写真は、このほど熊本県知事から永年勤続優良従業員として表彰されました。

この間、常に研修を積み、一級土木施工管理技士免許を修得されたほか、県や建設業協会からも多くの功績が認められ、表彰を受けられました。

古木さんは、高森上町の松田興業（松田とみ代表）に昭和二十三年十二月に入社されて以来、今日まで土木工事の現場代理・監督として地道に職務に精励されてこられました。

消防人形で「火の用心」呼びかけ

野尻草部分駐所

「火の用心、心で用心、目で用心」。昨年暮れ野尻農協前と役場草部出張所前の二カ所にユニークな防火人形が建てられました。

十一月二十六日から、全国火災予防運動が実施された際に、阿蘇広域消防組合野尻・草部分駐所の職員が、防火協力を呼びかけるためアイデアを生かして建てたもの。高さ一・三メートル。消防団らしく、

ヘルメットをかぶり、消防ハッピーをつけたさまは人目につきやすく、道行く人も「なんだろう」。

この人形、署員らの話によると二つとも同署員らの手づくりらしく、ワラ、布、紙粘土などを利用して、勤務の合間に作ったということです。ヘルメット、消防ハッピーとも廃品利用。

二つの人形とも、地区の中心街に建てられているだけに「歩行者やドライバーの目にとまり、防火への理解、関心が深まれば」と関係者らはその効果を期待を寄せています。



民謡・民舞全 国大会で入賞

下町の佐藤さん

高森下町の佐藤光男さん（四〇）は、昨年暮れ東京世田谷の東京体育館で開かれた

民謡・民舞全国大会（文化庁・日本民謡協会主催）の成年の部に出場して、みごと六位に入賞しました。実力が問われる晴れ舞台だっただけに、本人はもとより町の民謡仲間も大喜びです。

佐藤さんは自動車整備工場を経営するかたわら、暇をみて町の民謡教室で持ち唄の練習に励んでいます。最近では日本民謡大賞県大会で三年連続三位に入賞したのをはじめ、西九州民謡連合大会、民謡・民舞九州大会でも上位入賞するなど、めざましい活躍をされています。



草部出張所前に立てられた消防人形